

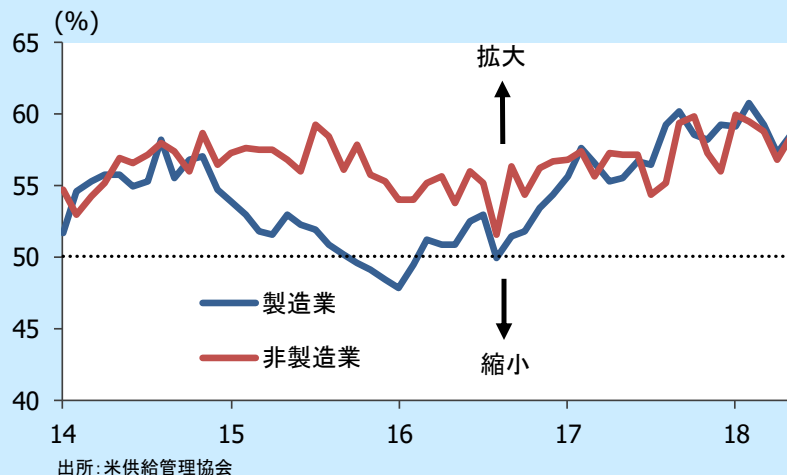
# 米国：ISM景況指数（2018年5月）

## — 製造業・非製造業ともに数カ月ぶりに上昇 —

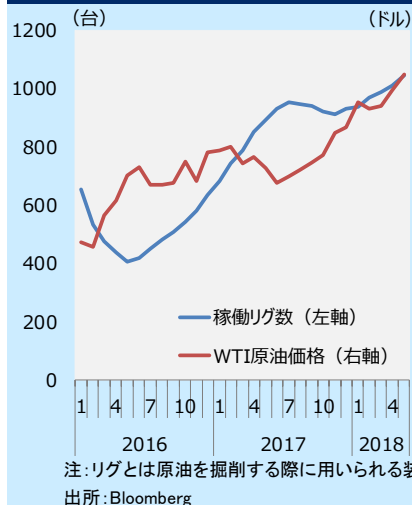
# MRI Daily Economic Points

## June 7, 2018

図表1 総合指数



図表2 稼働リグ数と原油価格



図表3 関税措置に対する各国の反応

EU
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最高28億ユーロ相当の米輸入品に対して、関税引き上げを7/1から開始する予定</li> <li>・さらに、関税引き上げを検討している、64億ユーロ相当の米輸入品のリストも作成中</li> </ul>
カナダ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国から輸入している鉄鋼に25%、農産物やアルミニウムなど様々な輸入品に10%の関税を7/1から課す予定（関税の引き上げが検討されている輸入品は、166億カナダドル相当）</li> </ul>
メキシコ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国からの鉄鋼製品や食品など様々な輸入品の関税引き上げを講じる意向を表明</li> </ul>

出所：各種報道資料より三菱総合研究所作成

## 評価ポイント

## 今回の結果

- 5月のISM製造業景況指数（総合、6/1公表）は、58.7と前月（57.3）から上昇。3カ月ぶりにの上昇だった。
- 指数を構成する5項目のうち、4項目が上昇。項目別にみると、生産（61.5）が大きく上昇したほか、新規受注（63.7）や雇用（56.3）も上昇した。業種別では、18業種のうち16業種が50を上回り、幅広い業種で活動が拡大した。
- 5月のISM非製造業景況指数（総合、6/5公表）は、58.6と前月（56.8）から上昇。4カ月ぶりにの上昇だった。
- 指数を構成する4項目すべてが上昇した。特に、入荷遅延（58.5）とビジネス活動（61.3）が大幅に上昇。業種別では、18業種のうち14業種が50を上回り、幅広い業種で活動拡大が継続した。鉱業では、原油価格の上昇に伴い、6カ月連続で活動拡大した（図表2）。

## 基調判断と今後の流れ

- ①堅調な内需や、②法人税減税による企業利益の増加などから、企業は良好な景況感を維持。先行きも、上記の環境に支えられ、企業活動は底堅く推移すると予想。
- 下振れリスクは、トランプ政権の保護主義的な動きである。政権は、6月1日よりEUやカナダ、メキシコに対しても、鉄鋼・アルミの輸入関税引き上げを適用したが、各国は対抗措置を講じる意向を示している（図表3）。また、政権は、知的財産権侵害を理由とする、中国に対する輸入関税の引き上げも検討している。
- 今後、①貿易相手国の報復関税などにより、輸出が減少する場合や、②輸入関税の引き上げが、国内物価の上昇を通じて、企業活動や消費を抑制する場合などには、企業の景況感が悪化しかねない。